Japan Lifeline

2016年3月期 決算説明会

2016年5月31日

日本ライフライン株式会社

本日の内容

1．2016年3月期決算概要

2．2017年3月期業績予想

3．販売状況と今後の見通し

4．中期計画

Japan Lifeline

1．2016年3月期決算概要

2．2017年3月期業績予想

取締役管理本部長

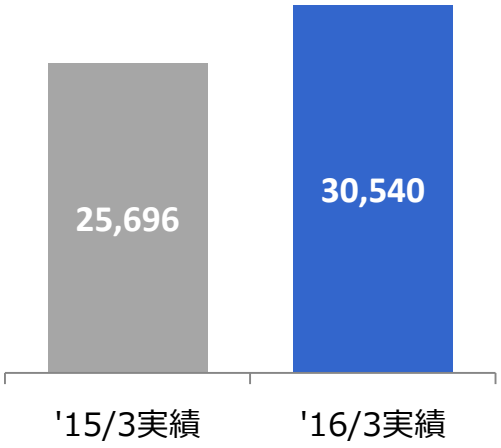
山田　健二

2016年3月期 連結業績ハイライト

- オンリーワン商品等の好調な販売
- 自社製品の売上構成比増加による粗利率の改善
- 売上規模拡大に伴う販管費比率の低下により、営業利益率が改善
- 投資有価証券売却益を特別利益として計上

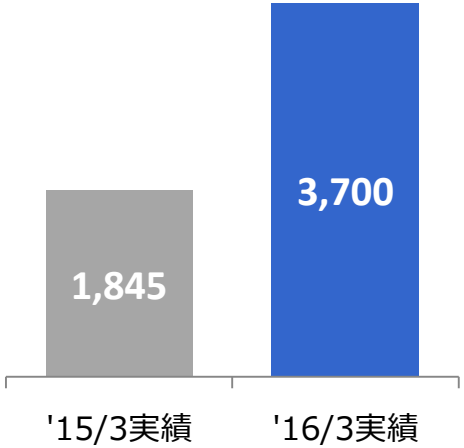
売上高

+18.9%



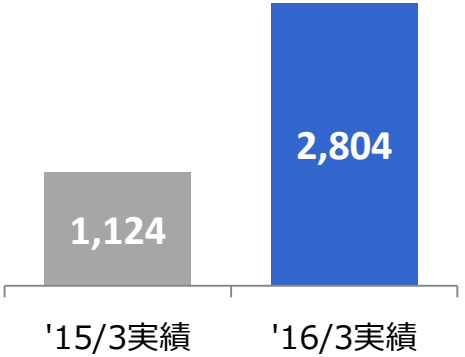
営業利益

+100.5%



親会社株主に帰属する当期純利益

+149.4%



（百万円）

Japan Lifeline

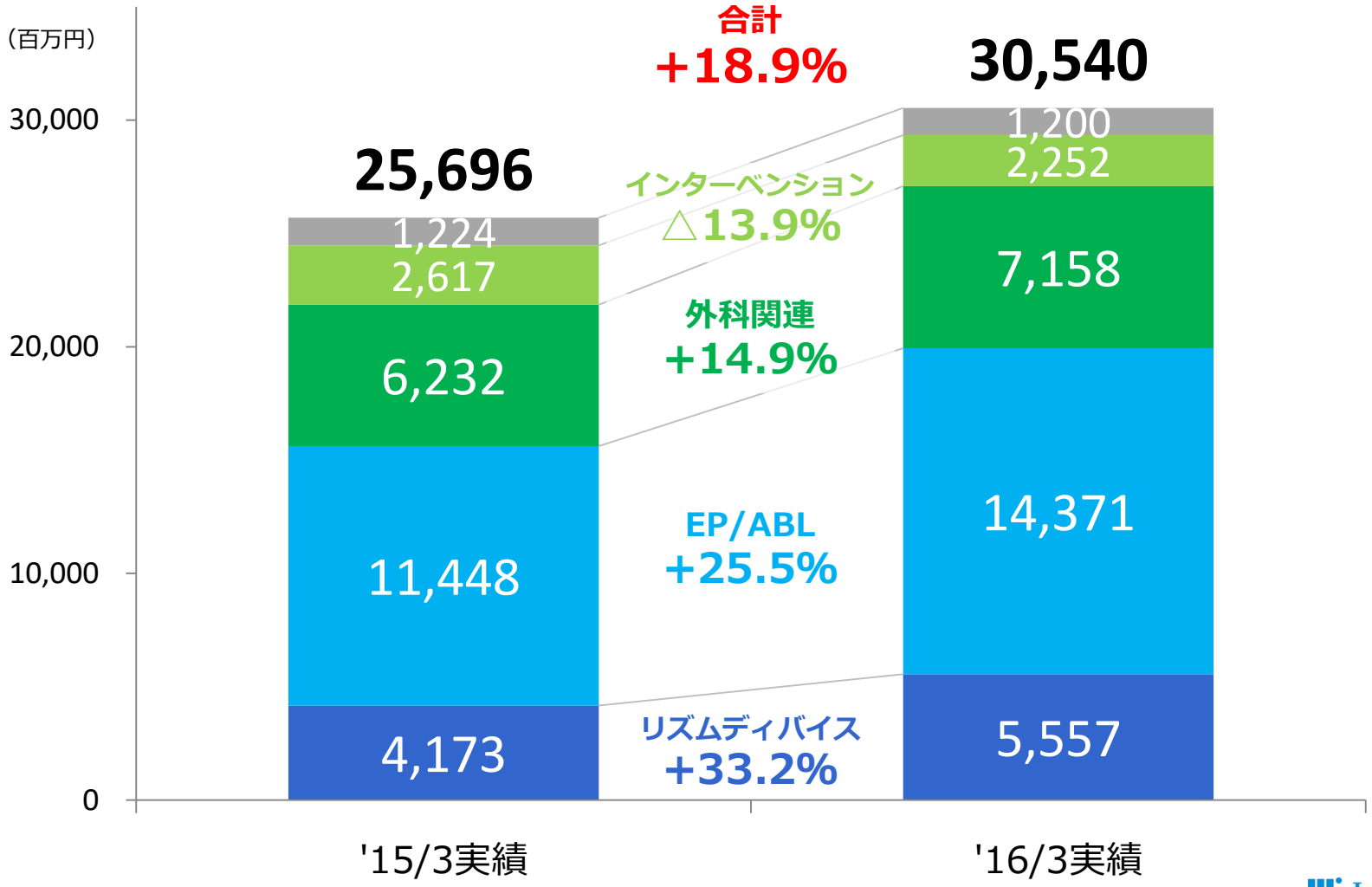
2016年3月期 連結業績

・前期、計画をともに上回る業績を達成

（百万円）	2015/3期 実績	2016/3期 予想 （'15/4/30発表）	2016/3期 実績	前期比	予想比
売　上　高	25,696	29,584	30,540	+18.9%	+3.2%
売上総利益	13,956	16,314	17,250	+23.6%	+5.7%
売上総利益率	54.3%	55.1%	56.5%	+2.2P	+1.4P
営　業　利　益	1,845	2,785	3,700	+100.5%	+32.8%
営業利益率	7.2%	9.4%	12.1%	+4.9P	+2.7P
親会社株主に帰属する当期純利益	1,124	2,171	2,804	+149.4%	+29.2%
当期純利益率	4.4%	7.3%	9.2%	+4.8P	+1.9P

2016年3月期 品目別売上高

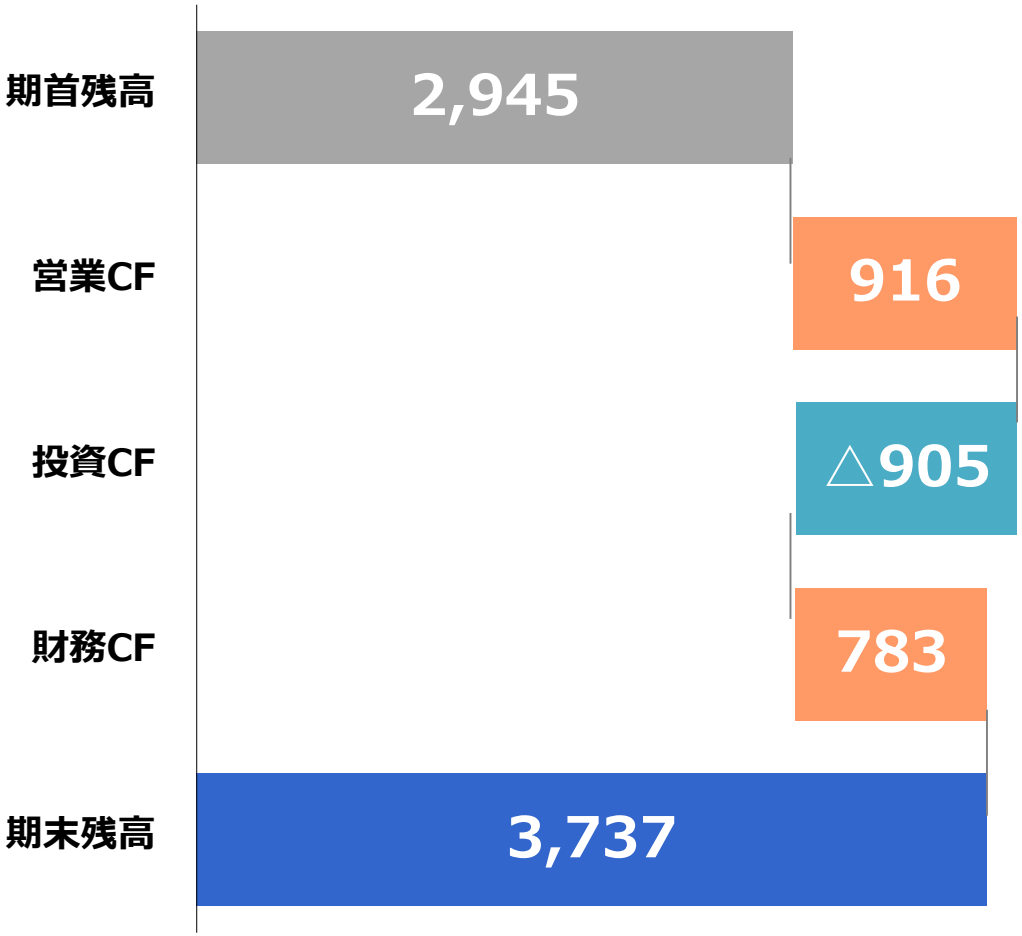
・自社製品、仕入商品ともに売上が増加



Japan Lifeline

キャッシュ・フローの状況

・対前期末　+791百万円



（百万円）

【増加】・税金等調整前当期純利益　+4,514
・その他（未収入金の減少等）　+2,331

【減少】・売上債権の増加　△2,105
・投資有価証券売却益　△1,028
・たな卸資産の増加　△814
・仕入債務の減少　△2,239

【増加】・投資有価証券売却による収入　+1,346

【減少】・有形固定資産の取得による支出　△1,805
・長期貸付による支出　△294

【増加】・短期借入金の増加　+1,100
・長期借入れによる収入　+4,635

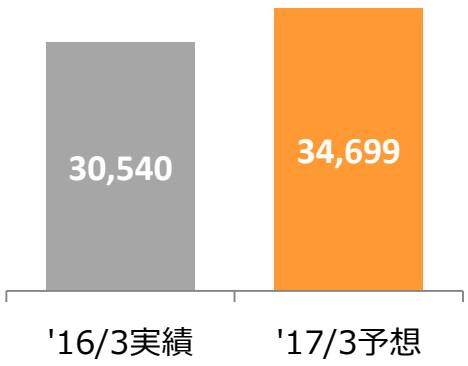
【減少】・長期借入金の返済による支出　△2,562
・自己株式の取得による支出　△1,950
・配当金の支払額　△323

2017年3月期 連結業績予想ハイライト

- 前下期に導入した新商品が通期で寄与
- 保険償還価格引き下げを吸収し、増収増益を見込む
- 積極的な成長投資と、利益水準のさらなる改善を両立

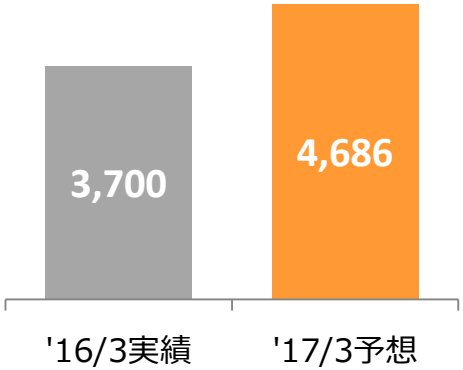
売上高

+13.6%



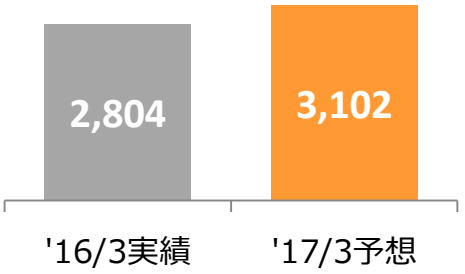
営業利益

+26.7%



親会社株主に帰属する当期純利益

+10.6%



（百万円）

JLL Japan Lifeline

2017年3月期 連結業績予想

・公定価格改定の影響を吸収し、さらに利益率の改善を見込む

（百万円）	2015/3期 実績	2016/3期 実績	2017/3期 予想	前期比
売上高	25,696	30,540	34,699	+13.6%
売上総利益	13,956	17,250	19,808	+14.8%
売上総利益率	54.3%	56.5%	57.1%	+0.6P
営業利益	1,845	3,700	4,686	+26.7%
営業利益率	7.2%	12.1%	13.5%	+1.4P
親会社株主に帰属する当期純利益	1,124	2,804	3,102	+10.6%
当期純利益率	4.4%	9.2%	8.9%	△0.3P

設備投資/減価償却費/研究開発費/従業員数

- ’16/3期 工場および研究施設の拡張用地を取得
- 積極的な研究開発と合わせ、自社製品の一層の拡充を図る

（百万円）		2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期（予想）
設備投資額		1,336	1,901	331	1,752	1,025
減価償却費		565	576	770	717	987
研究開発費		554	636	794	933	1,086
期末従業員数	連結	595	734	759	795	883
（名）	単体	519	549	570	610	684

（資料）　連結売上高　品目別

（百万円）	2015/3期 実績		2016/3期 実績			2017/3期 予想			備考
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	
ペースメーカ関連	3,503	13.6%	4,804	15.7%	37.2%	5,425	15.6%	12.9%	
ICD関連	593	2.3%	624	2.0%	5.3%	924	2.7%	48.0%	
その他	76	0.3%	127	0.4%	66.9%	145	0.4%	14.2%	AED含む
リズムディバイス計	4,173	16.2%	5,557	18.2%	33.2%	6,495	18.7%	16.9%	
EPカテーテル	7,987	31.1%	10,451	34.2%	30.9%	11,509	33.2%	10.1%	自社製品　心腔内除細動ｶﾃｰﾃﾙ含む
ABLカテーテル	1,440	5.6%	1,335	4.4%	△7.3%	1,189	3.4%	△10.9%	自社製品
その他	2,020	7.9%	2,584	8.5%	27.9%	2,760	8.0%	6.8%	自社製品含む
EP/ABL計	11,448	44.6%	14,371	47.1%	25.5%	15,458	44.5%	7.6%	
人工弁関連	1,503	5.9%	1,347	4.4%	△10.4%	1,810	5.2%	34.3%	
人工肺関連	317	1.2%	149	0.5%	△52.9%	78	0.2%	△47.5%	子会社販売商品含む
人工血管関連	4,411	17.2%	5,661	18.5%	28.3%	6,971	20.1%	23.1%	子会社製品含む　ｽﾃﾝﾄｸﾞﾗﾌﾄ含む
外科関連計	6,232	24.3%	7,158	23.4%	14.9%	8,859	25.5%	23.8%	
バルーン	975	3.8%	893	2.9%	△8.4%	865	2.5%	△3.2%	子会社製品含む
ガイドワイヤー	437	1.7%	436	1.4%	△0.2%	412	1.2%	△5.7%	自社製品
その他	1,203	4.7%	921	3.0%	△23.4%	1,374	4.0%	49.2%	フィルトラップ含む　子会社販売商品含む
インターベンション計	2,617	10.2%	2,252	7.4%	△13.9%	2,652	7.6%	17.7%	
その他	1,224	4.8%	1,200	3.9%	△2.0%	1,233	3.6%	2.7%	子会社販売商品
合計	25,696	100.0%	30,540	100.0%	18.9%	34,699	100.0%	13.6%	

（資料）　連結損益計算書

（百万円）	2015/3期 実績		2016/3期 実績			2017/3期 予想		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	25,696	100.0%	30,540	100.0%	18.9%	34,699	100.0%	13.6%
売上原価	11,739	45.7%	13,289	43.5%	13.2%	14,890	42.9%	12.0%
売上総利益	13,956	54.3%	17,250	56.5%	23.6%	19,808	57.1%	14.8%
販管費	12,111	47.1%	13,550	44.4%	11.9%	15,122	43.6%	11.6%
営業利益	1,845	7.2%	3,700	12.1%	100.5%	4,686	13.5%	26.7%
営業外収益	282	1.1%	240	0.8%	△14.8%	217	0.6%	△9.6%
営業外費用	90	0.4%	365	1.2%	305.9%	71	0.2%	△80.5%
経常利益	2,037	7.9%	3,574	11.7%	75.5%	4,832	13.9%	35.2%
特別利益	83	0.3%	1,104	3.6%	1220.3%	24	0.1%	△97.8%
特別損失	162	0.6%	163	0.5%	0.9%	8	0.0%	△94.5%
税引前利益	1,958	7.6%	4,514	14.8%	130.5%	4,847	14.0%	7.4%
税金費用	833	3.2%	1,710	5.6%	105.1%	1,745	5.0%	2.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,124	4.4%	2,804	9.2%	149.4%	3,102	8.9%	10.6%

３．販売状況と今後の見通し

代表取締役社長

鈴木　啓介

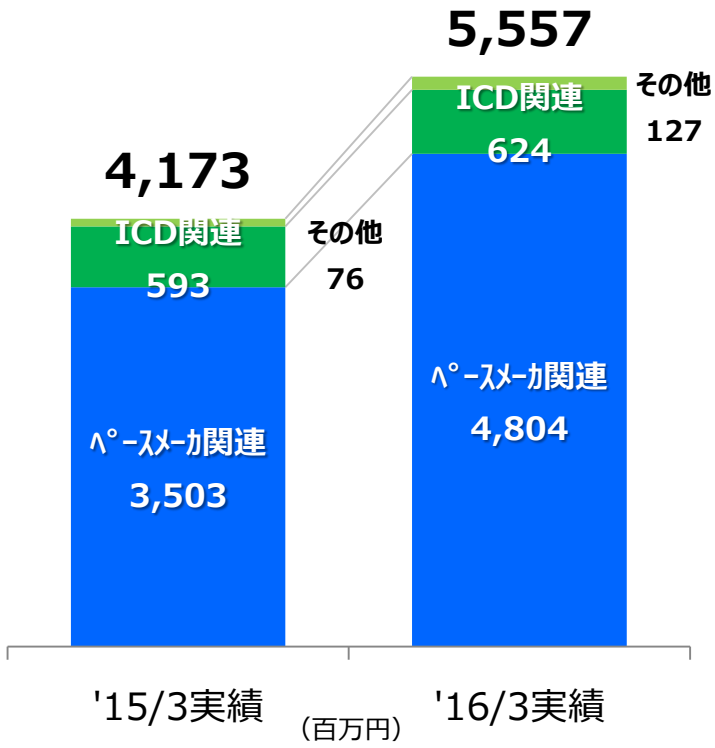
リズムディバイス　’16/3実績

MRI対応ペースメーカが寄与　　**前期比 +33.2%**

- **ペースメーカ関連**
  - MRI対応の「KORA100」導入により、回復に転換
- **ICD関連**
  - 昨年導入した小型、長寿命のICD「PLATINIUM」の販売数量が増加



「PLATINIUM　VR/DR」



Japan Lifeline

リズムディバイス　’17/3見通し

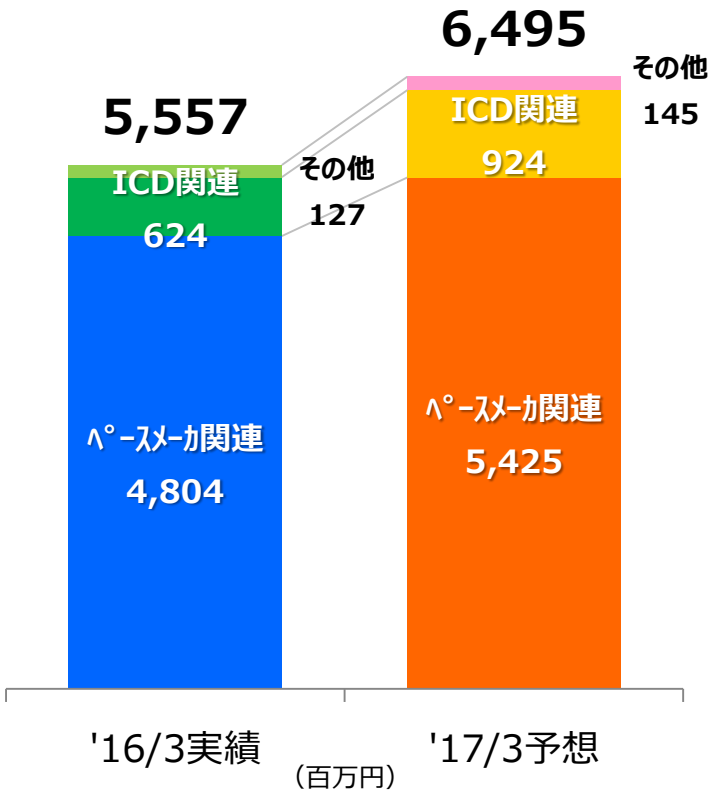
新商品によりさらに売上増を計画　　**前期比 +16.9%**

- **ペースメーカ関連**
  - 全身のMRI撮像が可能な新商品「KORA250」を本年3月に導入
  - 販売数の一層の増加を見込む



「KORA250」

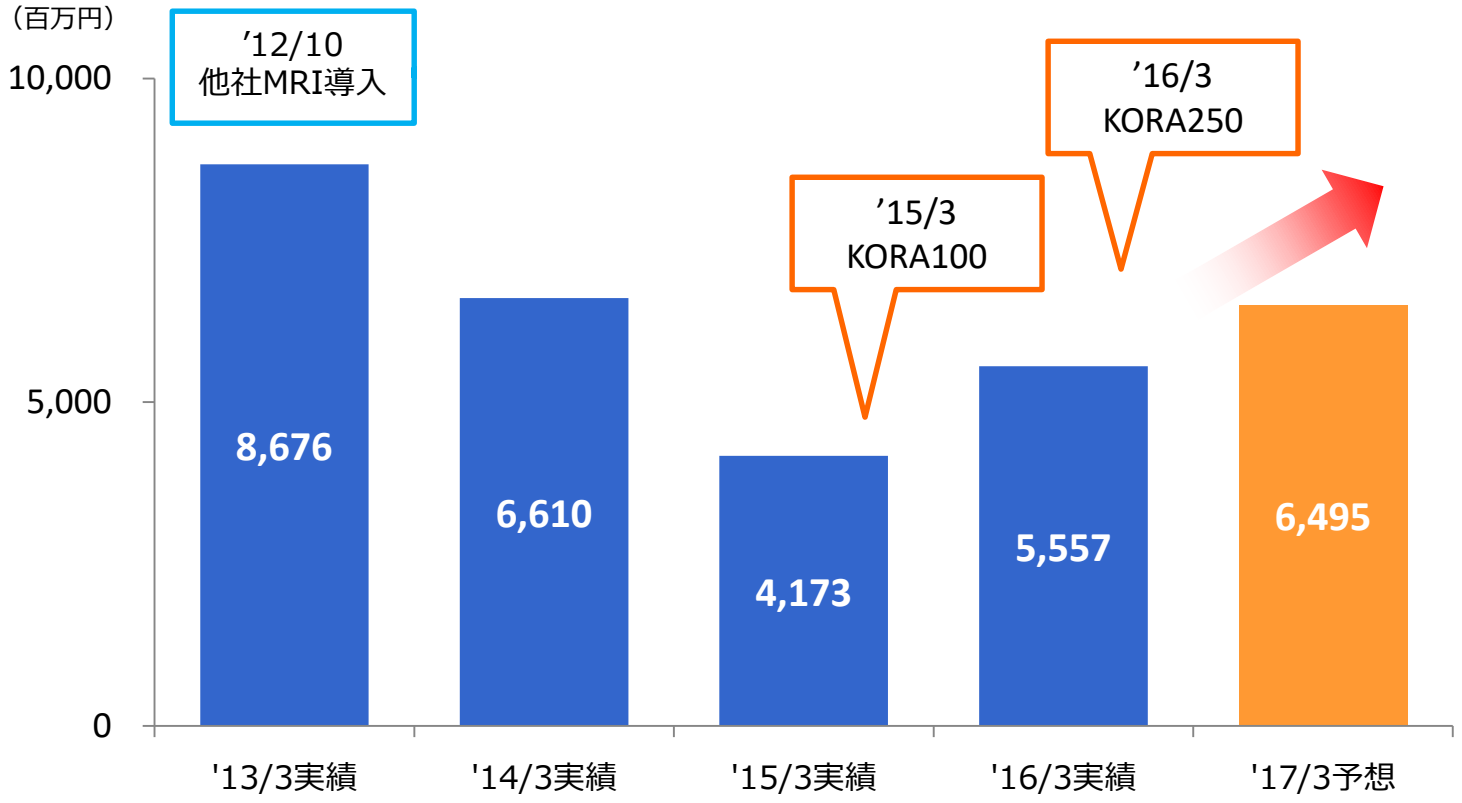
- **ICD関連**
  - 「PLATINIUM」シリーズのCRT-Dを2Qに導入予定



Japan Lifeline

リズムディバイス　’17/3見通し

- **MRI対応商品によりリズムディバイスは回復へ**



Japan Lifeline

EP/アブレーション　’16/3実績

心房細動治療の関連製品が伸長　　**前期比 +25.5%**

- **EPカテーテル**
  - 心腔内除細動カテーテル「BeeAT」がさらに伸長
  - 食道温モニタリングシステム「Esophastar」が計画を上回り推移

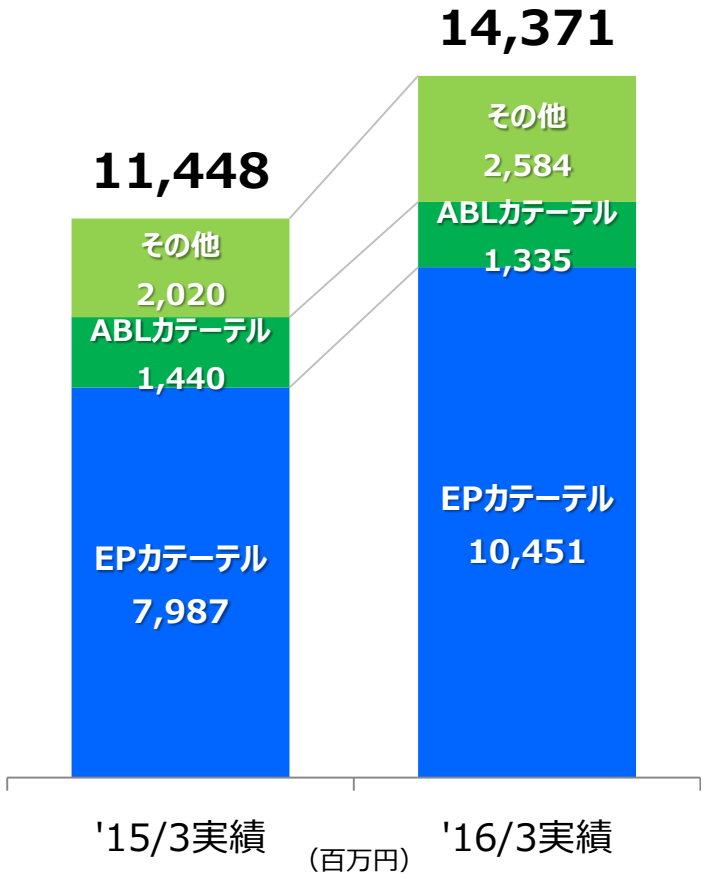


「Shock AT」



「BeeAT」

- **高周波心房中隔穿刺針**
  - 「RFニードル」の浸透が進む



Japan Lifeline

EP/アブレーション　’16/3実績

- **食道温モニタリングシステムの浸透が進む**
  - 温度センサー付カテーテル　「Esophastar」
  - 心房細動（AF）のアブレーション治療の安全性を高める
  - 導入初年度で速やかに市場シェアを獲得

特長

- ５つの温度測定用電極
- 電極径が細く挿入時の抵抗が少ない
- バイディレクショナルタイプ
- バルーン型冷凍焼灼に対応可能な
  幅広い温度測定範囲（5～75度）





「Esophastar」

Japan Lifeline

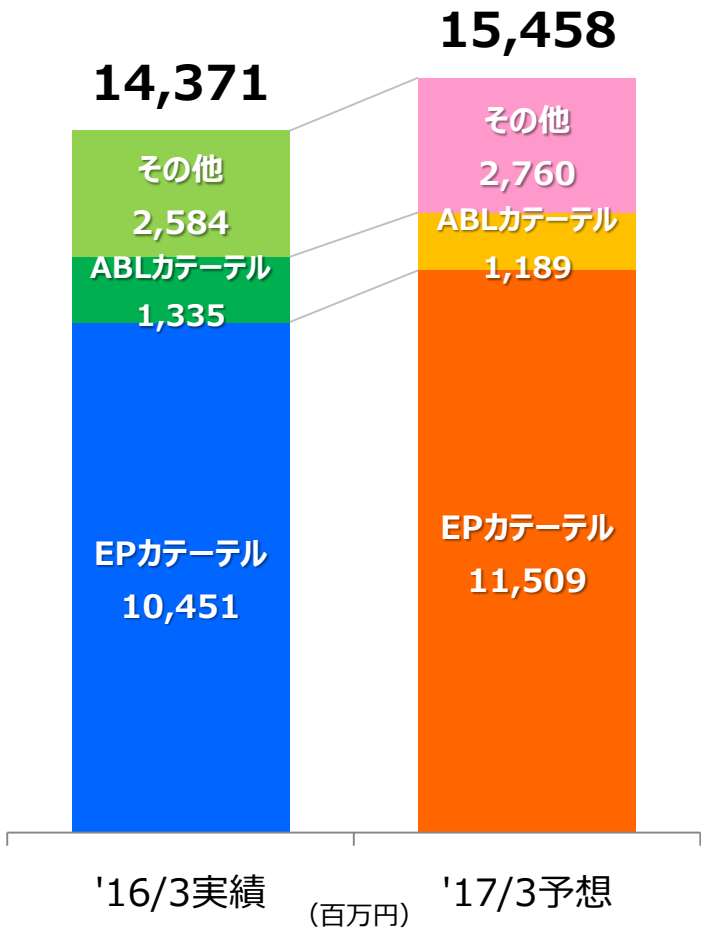
EP/アブレーション　’17/3見通し

市場の拡大を背景にさらに成長　　**前期比　+7.6%**

- **AF関連製品が牽引**
  - 心房細動のアブレーション治療の症例数増加
  - 心腔内除細動力テーテル「BeeAT」
  - 高周波心房中隔穿刺針「RFニードル」
  - 食道温モニタリングシステム「Esophastar」



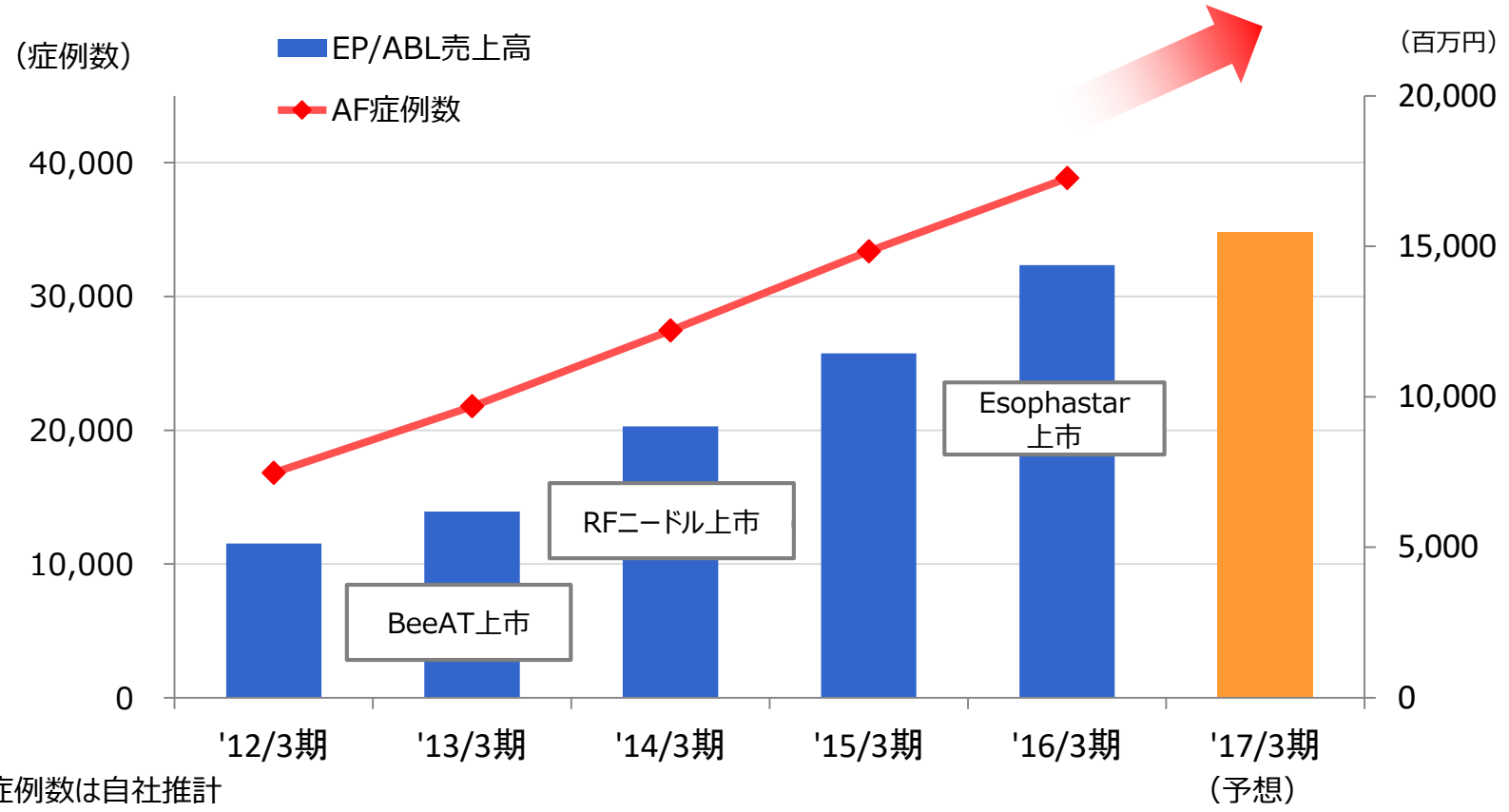
「RFニードル」



Japan Lifeline

EP/アブレーション　’17/3見通し

- **心房細動(AF)のアブレーション治療の増加が続く**



※症例数は自社推計

Japan Lifeline

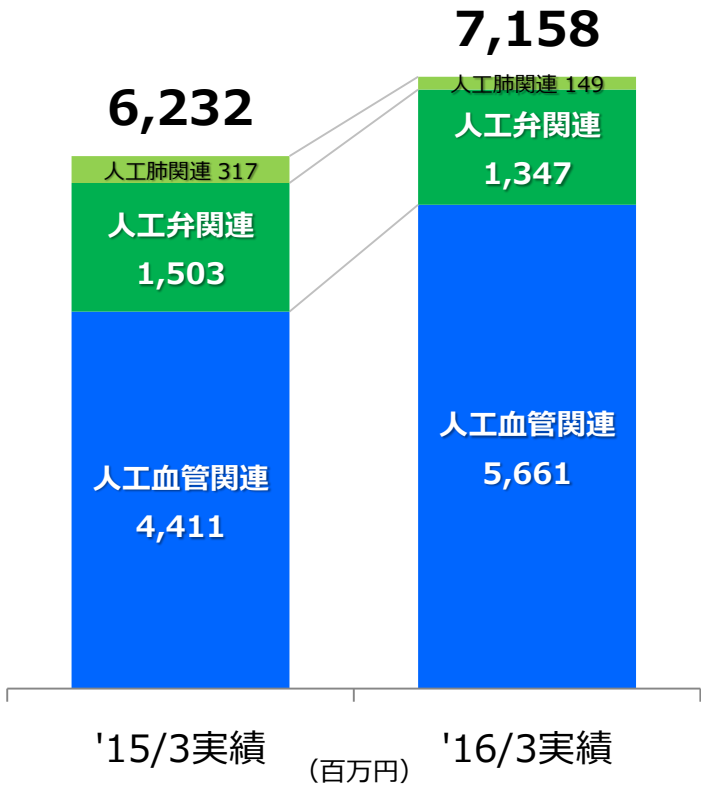
外科関連　’16/3実績

オープンステントグラフトが牽引　　**前期比 +14.9%**

- **人工血管関連が好調に推移**
  - 「J-Graft」オープンステントグラフト
  - ステントグラフトは腹部市場に新規参入
- **生体弁は公定価格引下が影響**
  - 従来品は段階引き下げ対象（昨年4月）
  - 耐久性が高い新商品を12月に導入
  - 「CROWN PRT」



「CROWN PRT」



Japan Lifeline

外科関連　’16/3実績

- **腹部用ステントグラフト市場へ参入**
  - 「AFXステントグラフトシステム」
  - 本年1月販売開始
  - 米エンドロジックス社製品
  - 将来商品の「NELLIX」についても導入に向けた準備を進める



「AFX」メインボディ



「AFX」デリバリーシステム



腹部大動脈瘤への留置イメージ

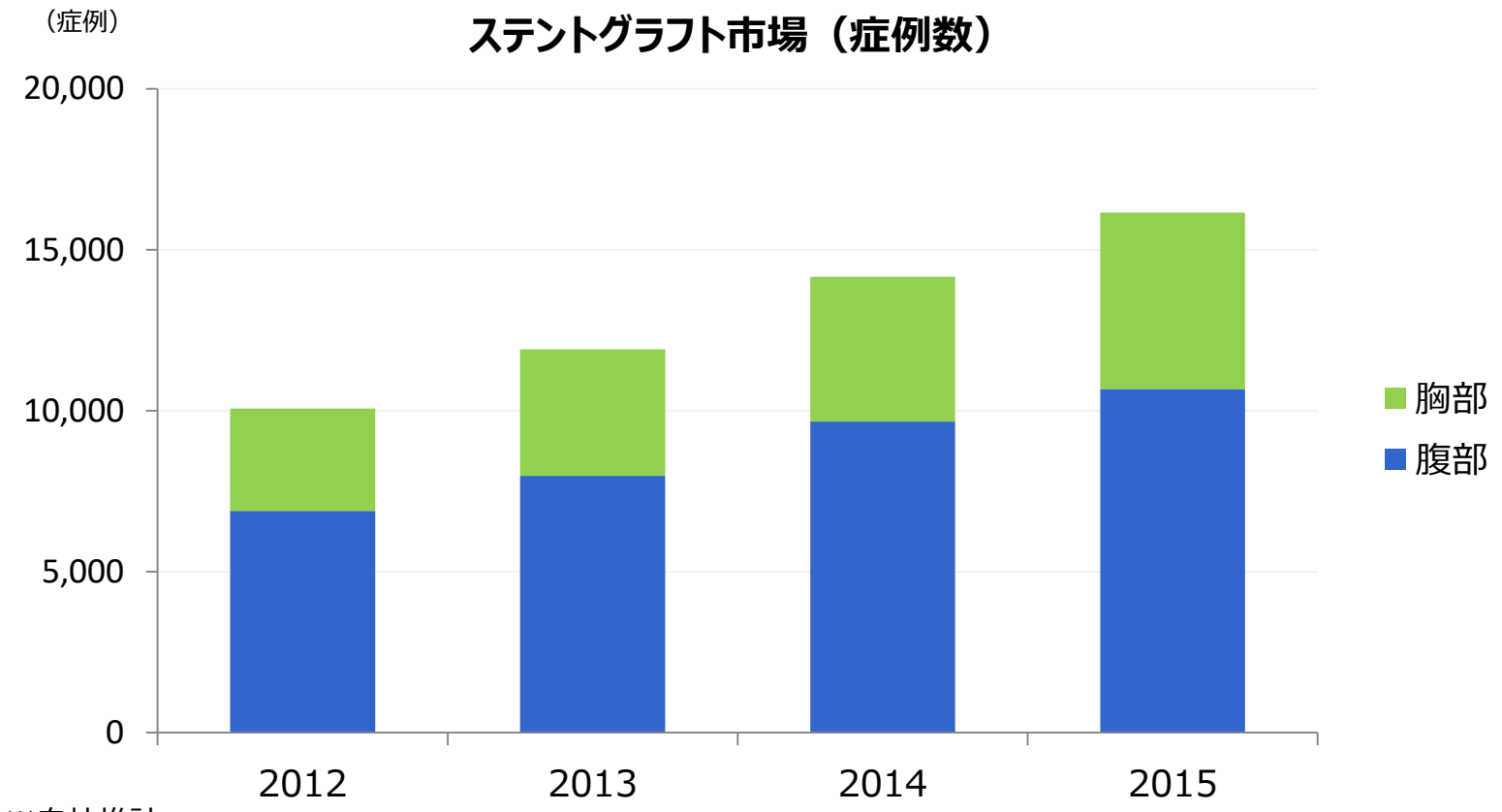
外科関連　’16/3実績

- **大動脈瘤治療製品のラインナップは業界No.1**

開胸手術		経皮的治療	
自社グループ製品		仕入商品	
人工血管	オープンステントグラフト	胸部用ステントグラフト	腹部用ステントグラフト
J-Graft	J-Graftオープンステントグラフト	RELAY Plus	AFX
JUNKEN MEDICAL社製	JUNKEN MEDICAL社製	Bolton Medical社製	Endologix社製
			NEW 

外科関連　’16/3実績

- **ステントグラフト市場を胸腹部ともにカバー**
  - さらに新商品の導入準備を進める



※自社推計

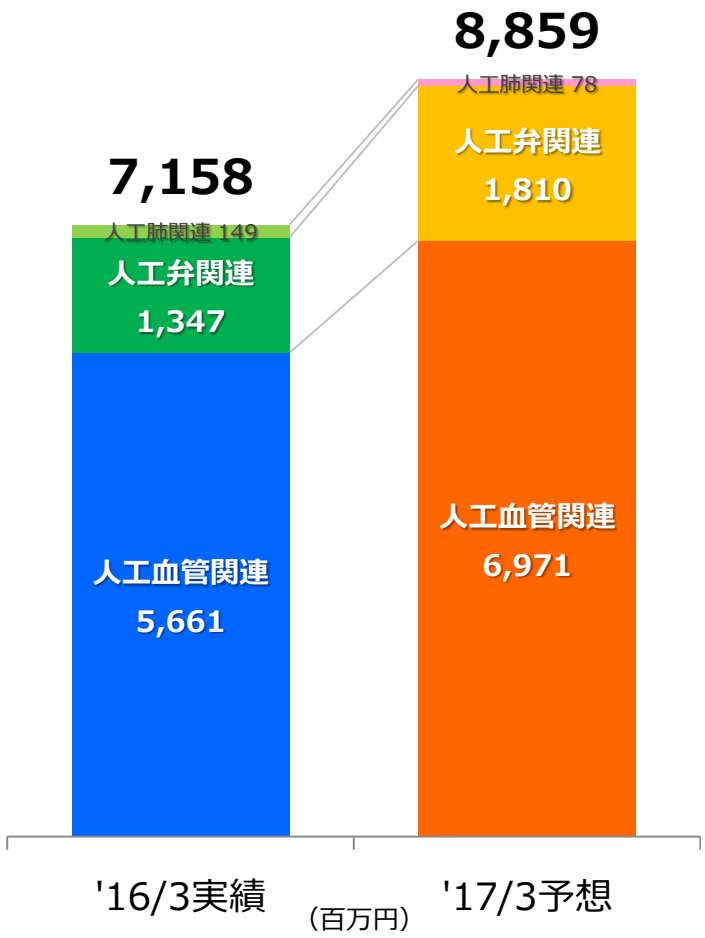
Japan Lifeline

外科関連　’17/3見通し

腹部用ステントグラフトが大きく寄与　　**前期比 +23.8%**

- **腹部用ステントグラフト**
  - 「AFXステントグラフトシステム」
  - 腹部領域追加による売上の増加

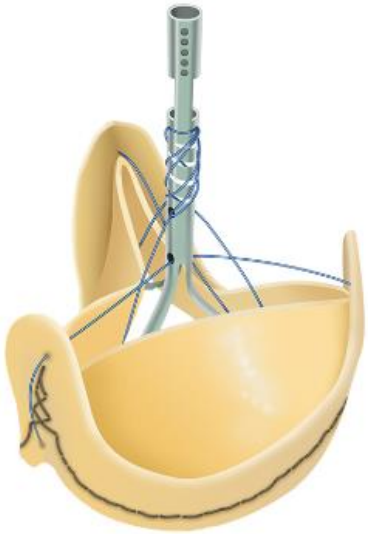
- **人工弁関連**
  - さらにラインナップを拡充
  - ステントレス生体弁
    「SOLO SMART」



Japan Lifeline

外科関連　’17/3見通し

- **生体弁はさらに新商品を導入**
  - ステントレス生体弁「SOLO SMART」
  - 本年4月販売開始
  - ステントやリングが無く血行動態に優れる
  - 手技の効率化に貢献
    - 植込み用ホルダーが手技をサポート
    - リンスが不要なため手技時間を短縮
  - さらに新商品の導入も計画
    - 「PERCEVAL」
    - 縫合が不要なスーチャレスバルブ

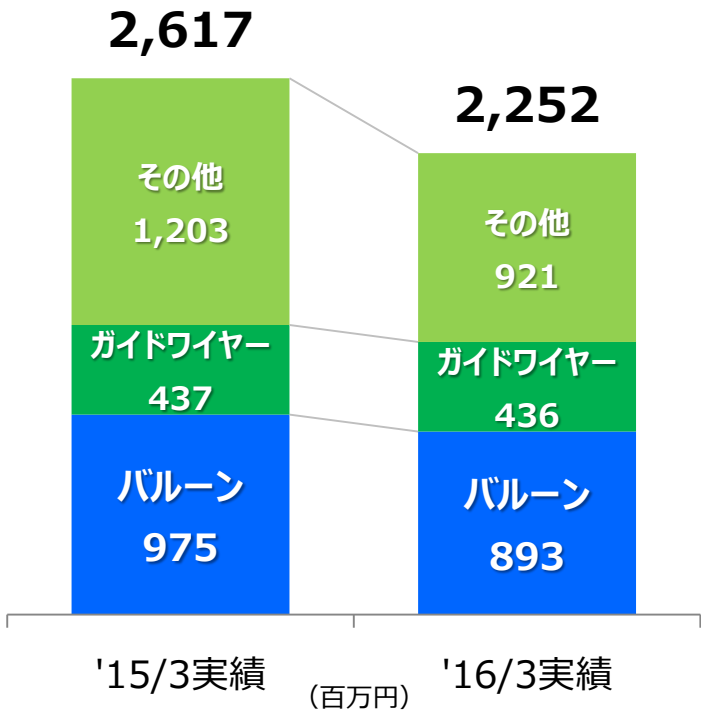


ステントレス生体弁
「SOLO SMART」

インターベンション　’16/3実績

一部商品の販売終了により減収　　**前期比 △13.9%**

- **バルーンカテーテルは切替が進む**
  - 自社製品「canPass」
  - 仕入商品「Pantera LEO」
  - 利益率の改善に寄与
- **ガイドワイヤー**
  - 競争環境が厳しく売上高は減少
- **貫通用カテーテル**
  - 「GuideLiner」が寄与
  - 末梢用モデルも導入



Japan Lifeline

インターベンション　’16/3実績

- **心房中隔欠損閉鎖器具の普及に努める**
  - 「Figulla FlexⅡ」
  - 本年2月販売開始
  - オクルテック社（スイス）製品
  - 既に高い評価、順調に浸透が進む

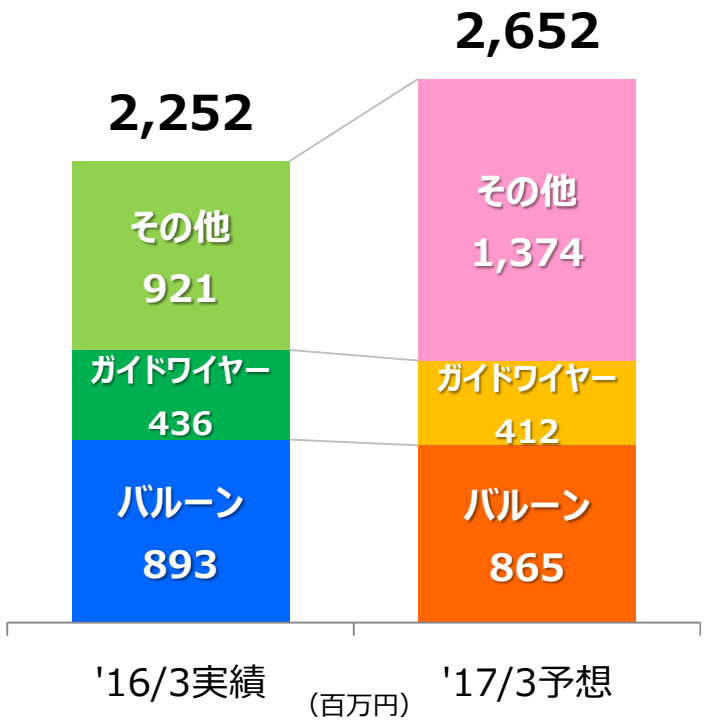


Figulla Flex Ⅱ

インターベンション　’17/3見通し

貫通用カテーテル、心房中隔欠損閉鎖器具が増加　　**前期比 +17.7%**

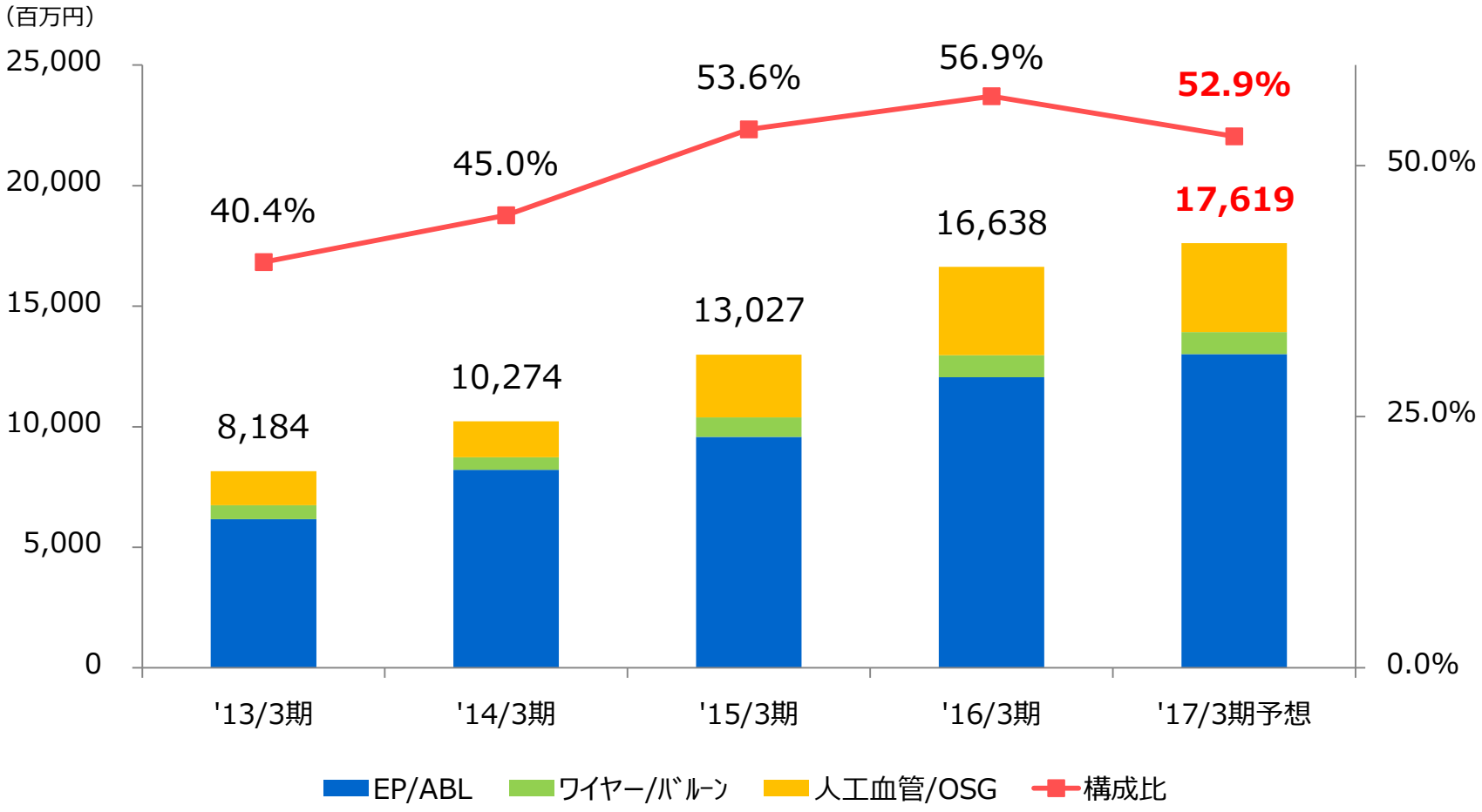
- **公定価格改定の影響により減少**
  - バルーンカテーテル
  - ガイドワイヤー
- **新商品による売上増を目指す**
  - 貫通用カテーテル「GuideLiner」
  - 心房中隔欠損閉鎖器具
    「Figulla Flex Ⅱ」



Japan Lifeline

自社グループ製品売上高

- ラインナップ拡充による成長の継続
- 仕入商品の売上増により構成比は低下



Japan Lifeline

4. 中期計画

代表取締役社長

鈴木　啓介

中期計画

- **昨年度の計画をローリングにより更新**

最新の状況を反映

- 直近の販売動向
- 仕入商品の独占販売契約の締結状況
- 自社製品の開発計画
- 治験および薬事承認の取得スケジュール

中期計画 目標

＜昨年計画＞

2020年3月期

連結売上高

452億円

営業利益率

15%

中期計画 目標

＜昨年計画＞

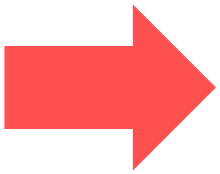
2020年3月期

連結売上高

452億円

営業利益率

15%



＜本年計画＞

2021年3月期

連結売上高

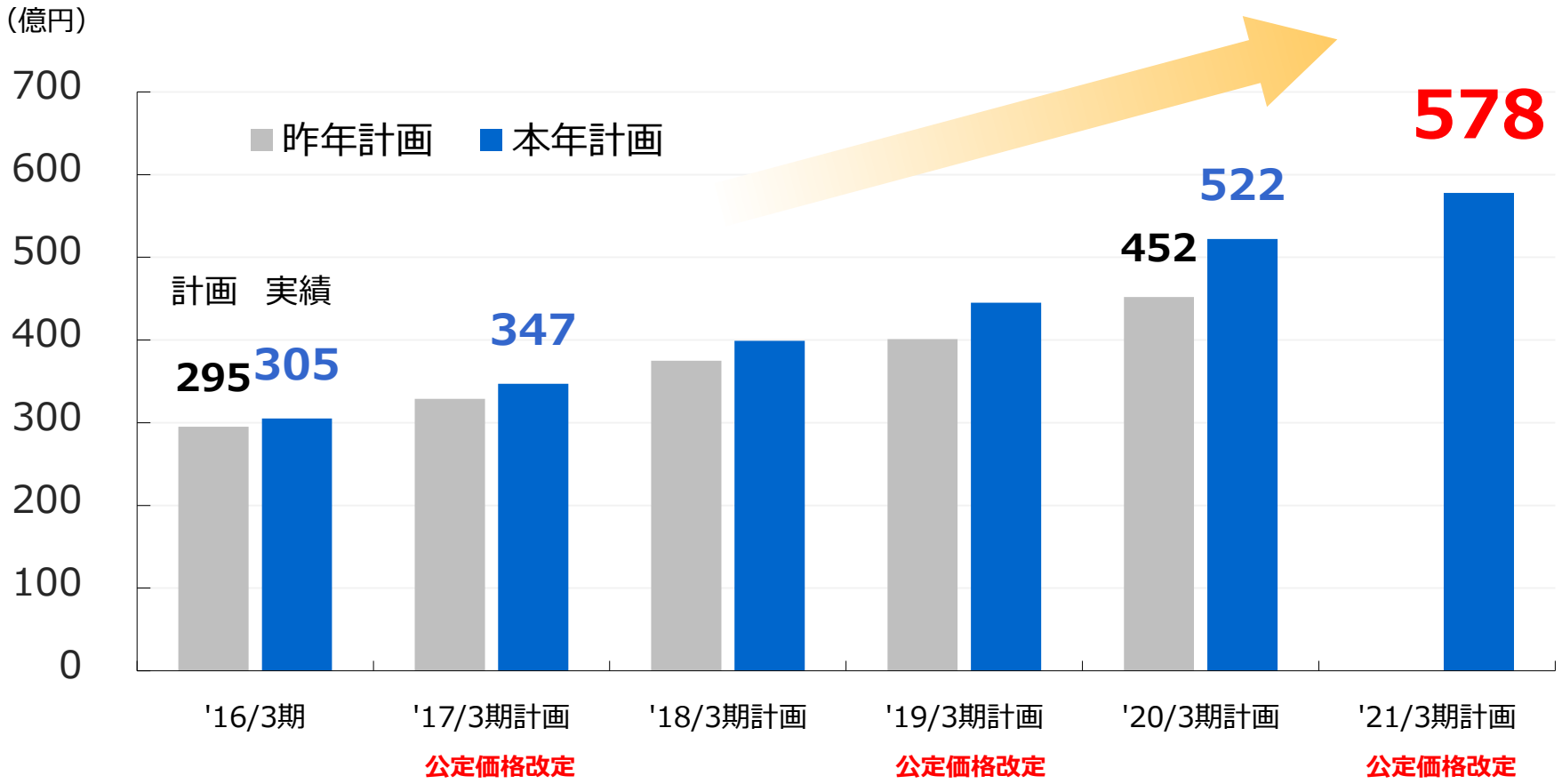
578億円

営業利益率

18%

中期計画 目標

2021年３月期
連結売上高578億円、営業利益率18%を目指す



※計画値には上市時期が特定されていない商品/製品は含まない

Japan Lifeline

中期計画

＜本年計画＞

2021年3月期

連結売上高

578億円

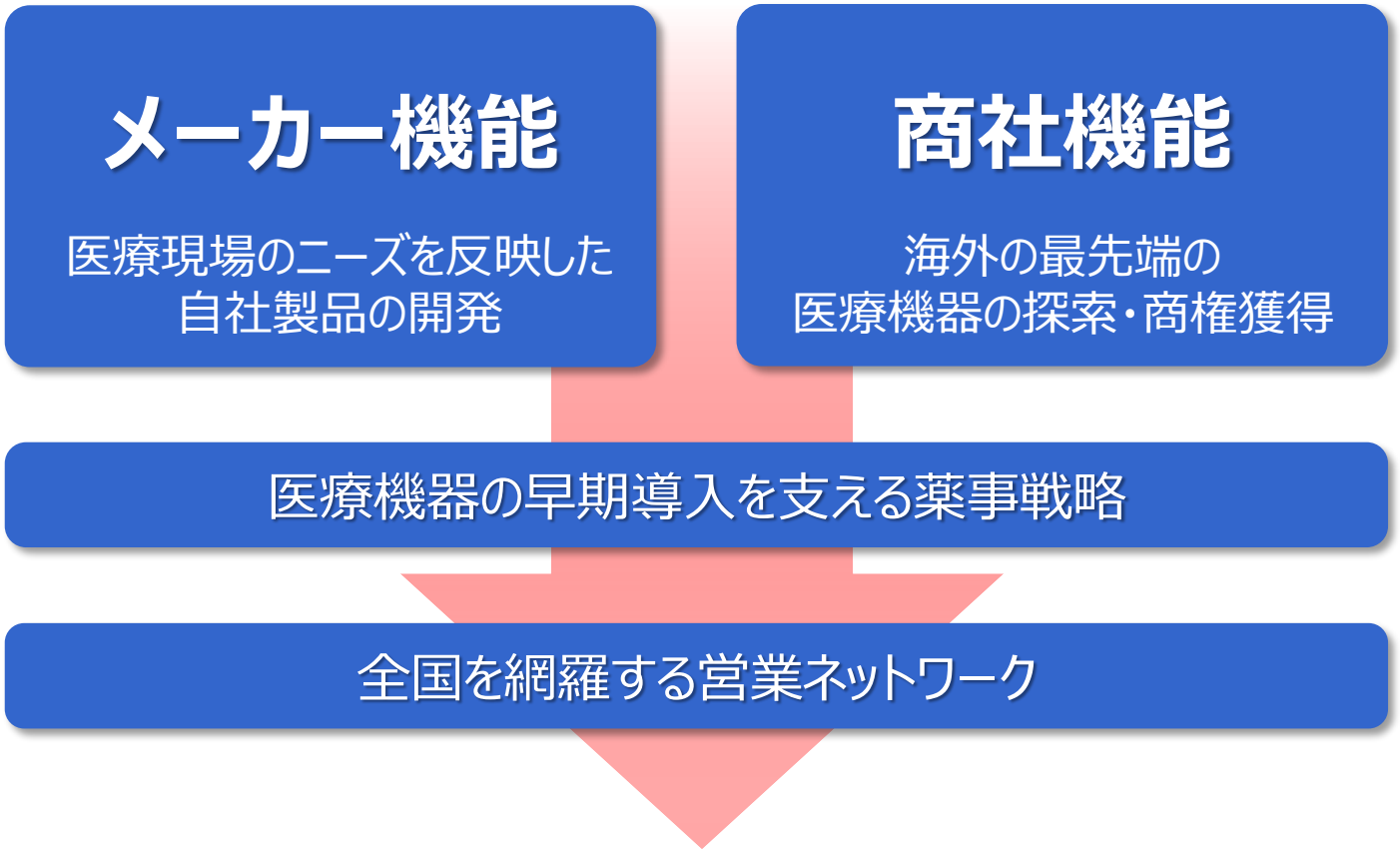
営業利益率

18%

計画のポイント

- 自社製品の一層の成長
- 大型の仕入商品導入により、
  自社製品の売上比率は変わらず
- 売上規模拡大による
  スケールメリットの享受
- 薬事治験、開発計画の推進
- 海外販売は保守的に想定

当社の成長基盤



両機能をともに強化し、一層の成長を目指す

中期課題①

リズムディバイス

【実施済】

- MRI対応PMの次期モデル導入
- ICDにおける小型新商品の導入
- AED事業の組織再編

【計画】

- MRI対応のタインドリード導入
- CRT-Dの小型新商品導入
- AED事業のCPR*サポートデバイス導入

*Cardio Pulmonary Resuscitation

中期課題②

ＥＰ/アブレーション

【実施済】

・AF関連製品のラインナップ強化
（BeeAT、RFニードル、Esophastar）

【計画】

・イリゲーション機能付ABLカテーテルのシェア獲得
・自社製スティーラブルシースの導入
・バルーンアブレーション導入による早期市場開拓
・心腔内エコーシステムの導入
・海外市場への本格参入

中期課題③

外科関連

【実施済】

- オープンステントグラフトの導入
- 生体弁関連の商品ラインナップ強化
- 腹部用ステントグラフト領域への新規参入

【計画】

- スーチャレス生体弁の導入
- 胸部用ステントグラフトの新商品導入
- オープンステントグラフトの海外展開
- NELLIXによるEVAS*市場の創出

*EndoVascular Aneurysm Sealing

中期課題④

インターベンション

【実施済】

- 自社製コロナリーバルーンの導入
- 心房中隔欠損閉鎖器具市場への再参入

【計画】

- 末梢用DCB*の導入
- PCI関連カテーテルの自社開発
- 輸入代理店契約による新商品導入

*Drug Coating Balloon

中期課題⑤

子会社関連

【実施済】

- 自社製コロナリーバルーンの安定供給
- OSGを含む人工血管の量産体制の構築

【計画】

- 血液浄化装置の新モデル開発
- 消化管ステントの市場導入
- 深圳工場の生産性向上
- 子会社製品の海外展開



... for Patient Comfort.

Japan Lifeline

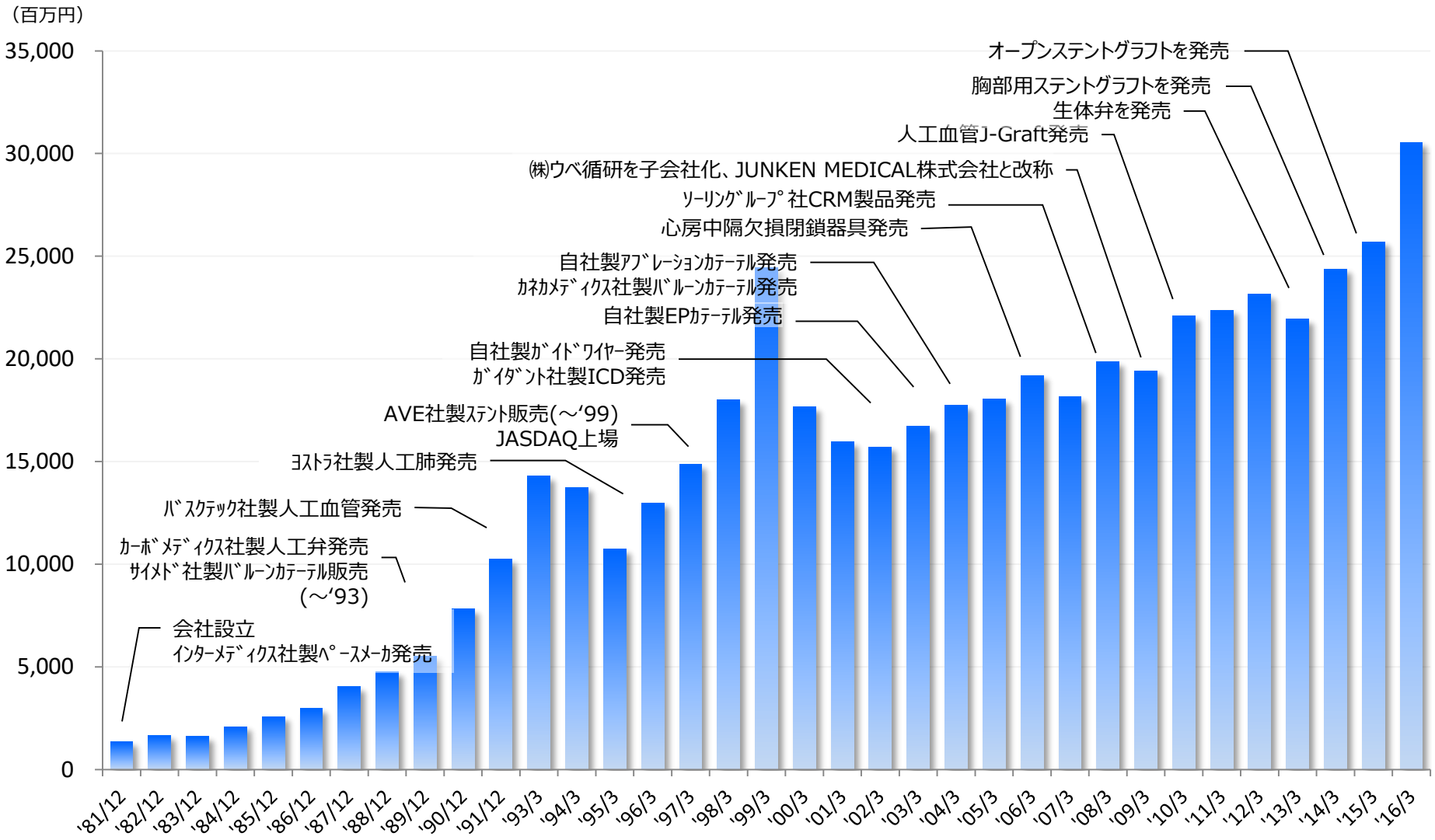
Japan Lifeline

会 社 概 要

会社概要

商号	日本ライフライン株式会社
代表者	代表取締役社長　鈴木啓介
本社	東京都品川区東品川2-2-20　天王洲郵船ビル
設立	1981年2月6日
株式	東証一部
証券コード	7575
事業内容	医療機器の輸入、製造および販売
資本金	2,115百万円
従業員数	連結795名/単体610名（2016年3月末現在）
事業所	営業拠点34ヶ所、羽田ロジスティックスセンター、リサーチセンター、戸田ファクトリー、小山ファクトリー、天王洲ACCADEMIA（研修センター）
連結子会社	JUNKEN MEDICAL株式会社、SYNEXMED（HONG KONG）LTD.、心宜医疗器械（深圳）有限公司

当社歴史と売上高の推移



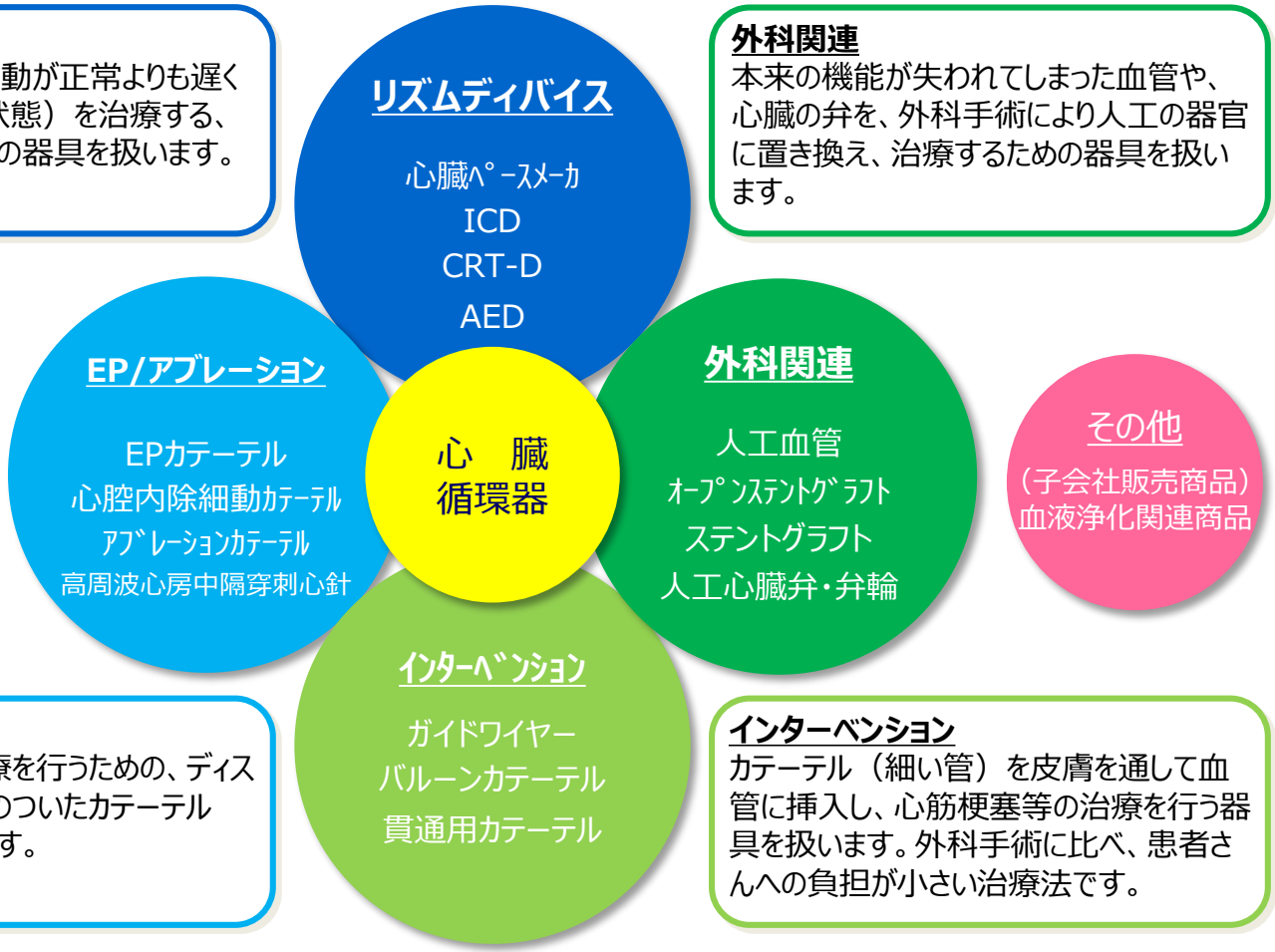
Japan Lifeline

事業領域

当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムディバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンション、その他の５つに大別されます。

リズムディバイス
不整脈（心臓の拍動が正常よりも遅くなるまたは早くなる状態）を治療する、主に体内植込み型の器具を扱います。

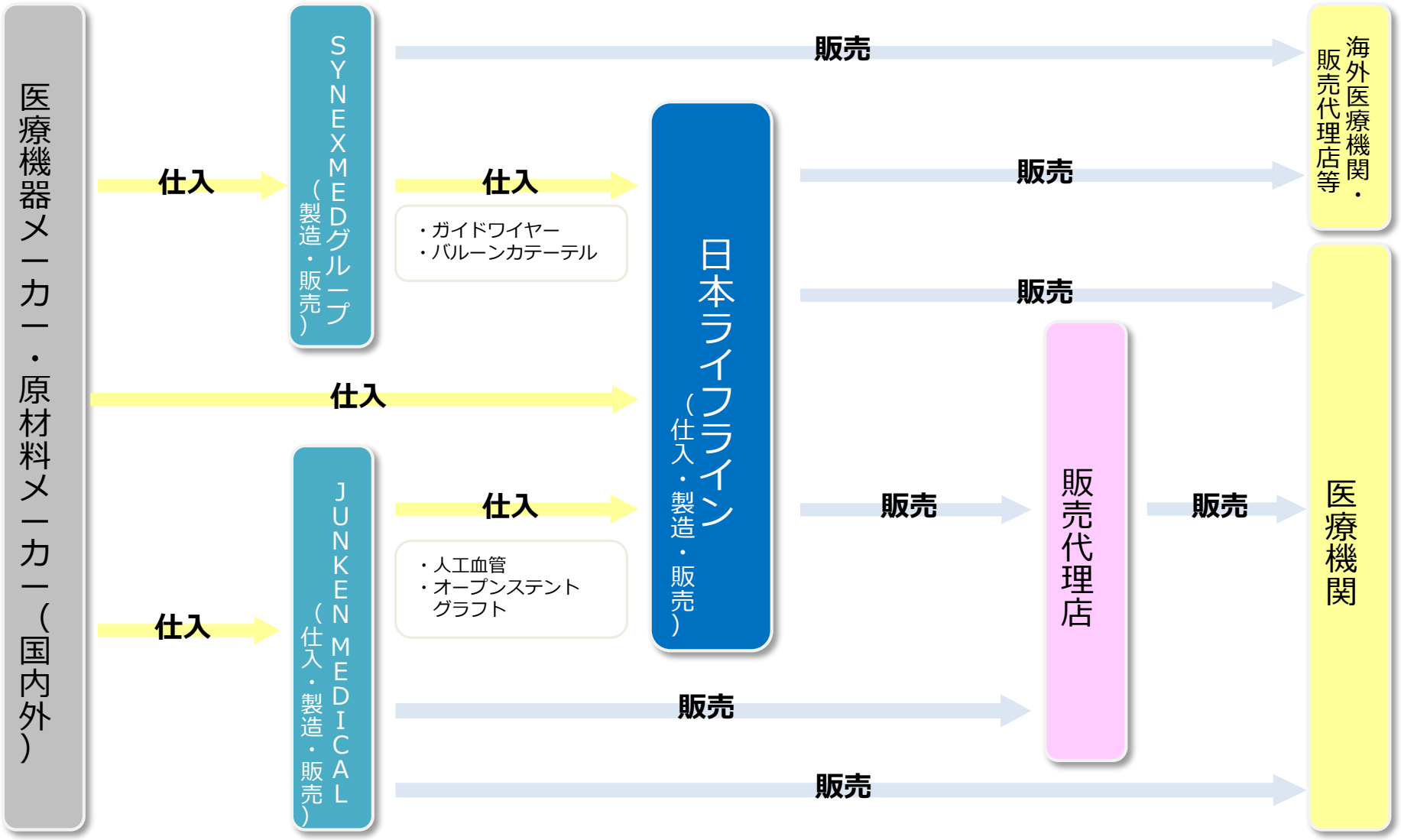
外科関連
本来の機能が失われてしまった血管や、心臓の弁を、外科手術により人工の器官に置き換え、治療するための器具を扱います。



EP/アブレーション
不整脈の検査や治療を行うための、ディスポーザブル式の電極のついたカテーテル（細い管）を扱います。

インターベンション
カテーテル（細い管）を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者さんへの負担が小さい治療法です。

事業の系統図



Japan Lifeline

商品紹介　リズムディバイス

心臓ペースメーカ

（LivaNova社製）



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈（徐脈）に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

ICD（植込み型除細動器）

（LivaNova社製）



心臓の拍動が異常に早まる不整脈（頻脈）のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。

CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）

（LivaNova社製）



重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与えることで、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。またICDと同様に除細動の機能も合わせ持っています。

AED（自動体外式除細動器）

（NANOOMTECH社製）

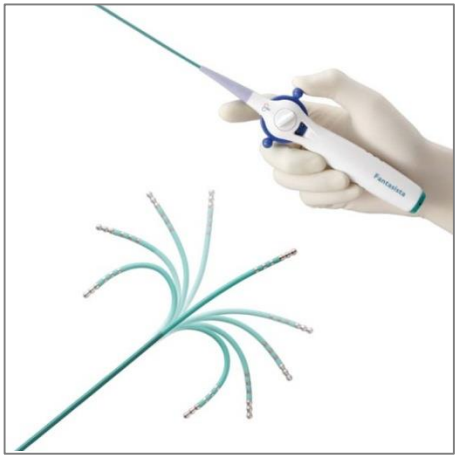


心室細動などにより心臓が突然停止した際に、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。操作が簡単なため、一般の方も使用することができます。

商品紹介　ＥＰ/アブレーション

アブレーションカテーテル

（自社製品）



頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることにより治療します。

EP（電気生理用）カテーテル

（自社製品）



不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。

心腔内除細動カテーテル

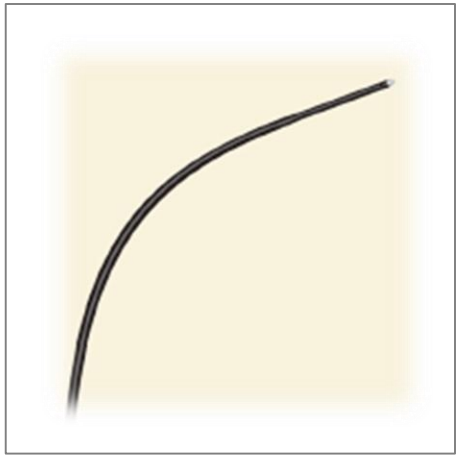
（自社製品）



アブレーション治療の際に発生する心房細動に対し、心腔内で除細動を行うことにより、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせ持っています。

高周波心房中隔穿刺針

（BAYLIS MEDICAL社製）



アブレーション治療などの際に、左右の心房の間にある壁（心房中隔）に、カテーテルを通すための穴を高周波により開ける際に使用します。

商品紹介　外科関連

人工心臓弁

（LivaNova社製）



心臓弁が十分に開かない、また完全には閉じないなど、正常な血流を保てなくなった場合に、人工心臓弁に置き換え、本来の機能を回復させます。

心臓弁の疾患に対し、人工心臓弁に置き換えずに、自己の弁を温存し縫合等により治療する際に使用します。

人工弁輪

(LivaNova社製)



オープンステントグラフト

（JUNKEN MEDICAL社製）



大動脈に挿入し拡張することにより血管に固定します。片側の吻合が不要なため、開胸手術を行うものの低侵襲に大動脈瘤の治療を行います。

人工血管

（JUNKEN MEDICAL社製）



開胸手術により動脈瘤などで痛んだ血管を切り取り、人工血管に置き換え治療します。

ステントグラフト

（BOLTON MEDICAL社製）



開胸手術を行うことなく、足の付け根の血管からカテーテルを通じて、治療部位に留置し大動脈瘤を治療します。

商品紹介　インターベンション

バルーンカテーテル

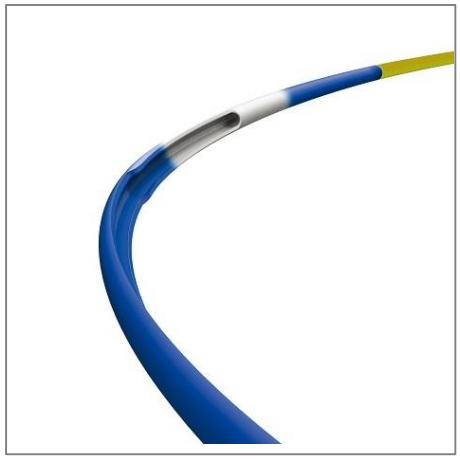
（自社製品）



心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船（バルーン）を拡張させ、再度血流を確保します。

貫通用カテーテル

(Vascular Solutions社製)



バルーンカテーテルやステント等を冠動脈の治療部位へ送り届ける際に、ガイディングカテーテルをサポートし、手技をスムーズかつ効率的に行うために用います。

ガイドワイヤー

（自社製品）



バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に関係する、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営戦略部
TEL:　03-6711-5214
E-Mail: ir@jll.co.jp
URL: http://www.jll.co.jp